7月園だより

今月のねらい

外で元気良く遊び
たくさん汗をかこう！

学校法人　野間学園

野間ナーサリー

元気よく外で遊ぼう！！

紫陽花の花が雨に映える季節となりました。今年は梅雨入りが遅く、水不足が心配されていますが、子ども達は青空の下、園庭を思い切り駆け回りたくさん体を動かして遊んでいます。

さて、７月で一学期は終わりです。４月の入園、進級時は泣いたり、不安な表情を見せたりしている子ども達もいましたが、今では新しいクラスや友達にもすっかり慣れ、朝から元気に「おはよう！」と登園する姿を沢山見る事が出来るようになりました。一学期は子ども達にとって園生活の土台となる大切な時期です。友達や先生との関係も生まれ、園生活や生活習慣の流れを身に付け、様々な保育の積み重ねがこれからの行事や保育に繋がっていきます。７月はそのまとめの月で、七夕会・保育参観など、沢山の行事や遊びが待っています。年長児は２泊３日のサマーキャンプもありますね。一日一日を大切に楽しんで過ごしていきたいと思います。

これから暑い日が続きます。園では小まめに水分補給したり、外に出る際は必ず帽子を被ったりして、体調不良や熱中症を起こさないように配慮していきます。ご家庭でも子ども達の体調が崩れることのないよう、早寝・早起き・朝ごはんを心掛けましょう。

行事予定

３日(水)　身体測定
５日(金)　七夕会・誕生会
６日(土)　保育参観日・Ｐ＆Ｐ
８日(月)　避難訓練
１２日(金)　終園式
１３日(土)　Ｐ＆Ｐ
２０日(土)　Ｐ＆Ｐ
２７日(土)　夏祭り・Ｐ＆Ｐ
３１日(水)　園外保育（柏原自然公園）
※れんげ組・以上児

自然豊かな柏原にある「柏原自然公園」へ行き、川遊びをします。川の水はとても冷たく、気持ちよく遊ぶ事が出来ます。ぜひ楽しみにしていて下さいね。

※７月１８日(木)～２０日(土)
年長サマーキャンプ

※年長マーチングフェスティバルは
９月８日(日)に開催が決定致しました。
７日(土)にリハーサルが行われます。

水遊びのお知らせ

当日はプールカードに、参加・不参加を記入し、おたよりばさみに挟んでお知らせ下さい。

★持ってくるもの★

- **水着**　　・**水遊びカード**　　・**バスタオル**
- **水鉄砲等の遊び物**（遊び物は、園でも準備していますので持ってこなくても構いません）

※紛失を防ぐ為にも、**全て名前の記入**を忘れずにお願いします！！

たんぽぽ組	れんげ組	年少組
１９日（金） ２９日（月）	１７日（水） ２２日（月）	１７日（水） ２２日（月）

年中組	年長組
１６日（火） ２３日（火）	１６日（火） ２３日（火）

水分補給は忘れずに！

わたし達の身体の成分の７０％は水分です。汗や尿などで失った水分は、水や食物から補給してバランスを保っています。

ただし、暑くなるとついつい飲んでしまいがちなジュースなどの清涼飲料水には、たくさんの砂糖や添加物が含まれていますので、注意が必要です。

体にとって大切な水分は、水やお茶、牛乳、食事から十分にとりましょう。

家庭で工夫したい水分補給の仕方

- 麦茶をいつも冷蔵庫に作っておく。
- 食事の前に飲ませすぎない。
- 糖分の多い飲料は控える。
- 外出時にもなるべく水や麦茶を持参する。
- 水分は少量ずつこまめに飲ませる。

提出物について

内容	対象	期限
絵本代	全クラス	毎月１０日
布団乾燥代	たんぽぽ・れんげ・さくら	毎月１０日
主食費	さくら・うめ	毎月１０日
朝延長希望	希望される方のみ	前日の夕方まで

保育参観のお知らせ

７日(土)は一学期最後の保育参観です。進級・入園してからの子ども達の成長がたくさんみられると思います。お忙しいとは思いますが、ぜひご出席下さいますようお願いします。子ども達も楽しみにしています。

★日時　７月６日(土)　９：３０～１１：３０

★登園　９：２０までに園にお越し下さい。
９：３０よりはとぽっぽ体操を始めます。

★降園　保護者と一緒に降園してください。

★服装　年　長／体操服・制帽
年中少／夏制服・制帽
れんげ・たんぽぽ／私服

《参観内容》

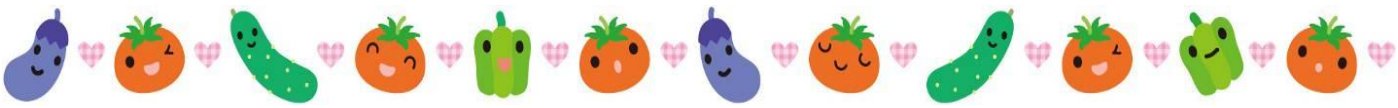
★たんぽぽ組・・水遊びのおもちゃを作ろう！
★れんげ組・・・水遊びのおもちゃを作ろう！
★年少組・・・・仲間集めをしよう！(もちものはどれ？・かたづけをしよう)
★年中組・・・・文字遊び
★年長組・・・・マーチング
(保護者の方にも参加して頂きますので、
軽装でお越しください。)

《参観に関してのお願い》

●駐車場は限られていますので、車での来園は禁止します。ご了承下さい。
●私語や保護者同士のおしゃべりは保育の妨げになりますので、慎みましょう。
●上履き・下履き入れをお持ちになり、履物は各自で保管して下さい。
●保育中、小さなお子様は必ず手元におかれますよう、よろしくお願いします。

7月のメニュー

日	曜日	昼食	おやつ
１・２９	月	・パン　・ミートボールシチュートマト風味 ・ひじきとズッキーニのサラダ	・チーズ ・すいか
２・１６・３０	火	・ごはん　・にら玉スープ ・大豆の五目煮 ・切り干し大根の和え物	・豆乳 ・黒糖蒸しパン
３・１７・３１	水	・ごはん　・揚げ魚のあんかけ ・鶏肉とコロコロ野菜の清汁	・スキムミルク ・きょうだいかん
４・１８	木	・ごはん　・ムニエル　・レタス ・オクラのスープ	・スキムミルク ・新☆ブルーベリー 米粉マフィン
５	金	・ごはん　・チキンカツ　・レタス ・五目みそ汁	・スキムミルク ・マカロニのきな粉和え
１９	金	・ごはん　・牛肉のつけ焼き　・レタス ・厚揚げとかぼちゃのみそ汁	・スキムミルク ・マカロニのきな粉和え
６・２０	土	・五目そうめん ・ヨーグルト	・牛乳 ・バームクーヘン
８・２２	月	・パン　・ゆでとうもろこし ・コロッケ（８日）　・豚カツ（２２日） ・ミネストローネスープ	・アイスクリーム ・ウエハース
９・２３	火	・ごはん　・中華風冷奴 ・きゅうりの塩もみ　・豚汁（じゃがいも）	・スキムミルク ・フルーツミルクかん
１０・２４	水	・ごはん　・ゆでとうもろこし ・フィッシュボール　・レタス ・かぼちゃの豆乳みそスープ	・豆乳 ・チーズボール
１１・２５	木	・ごはん　・夏野菜のキーマカレー ・かぼちゃとツナのサラダ	・スキムミルク ・バナナ ・せんべい
１２・２６	金	・ごはん　・つみ入れ汁 ・小松菜の炒め物	・スキムミルク ・きな粉パン
１３・２７	土	・シーフードスパゲティ ・すいか	・牛乳 ・丸ボーロ



楽しい夏にするために！

夏は水難事故の季節です！！そこで、事故に合わないための注意事項を改めて取り上げました。しっかり読んで、楽しい夏を過ごしましょう！！

目的地について念入りに調べておく

- 遊泳可能な場所か、迅速な救助が可能な体制があるか、水流や水温の変化の激しい箇所が明確か、岩などの危険物が多い場所か、緊急時の避難ルートはあるか、河川ならば上流なのか、下流なのか、上流にダムは無いかなど。
- 調べても分からないことは、目的地域の自治体や、そのエリアを常に利用する漁協共同組合やスポーツ事業者の方たちからも情報を得る。

当日の状況を的確判断する

- 天候不良時は、水難事故の発生率が高くなる。
- 体調不良や飲酒後なども、状況判断が鈍ることや、体力の低下などにより思わぬ事故に繋がる。

子ども同士で遊びに行かない

- 中学生以下の子どもだけでは、的確な判断や行動がとれない可能性があるため、必ず監督責任者となる大人が付き添う。

禁止事項は必ず守る

- 「危険区域」や「遊泳禁止」などの掲示板や標識には従い、表示する標識や浮きなどを損壊しない。
- 釣りや遊泳中に「おかしい」と感じた時は、すぐに陸などに上がり、安全を守る。

人と直接するコミュニケーションの大切さ

入園、進級してから３ヶ月が過ぎました。子ども達の遊びの様子を見ていると、個人差はありますが、３歳児では友達同士のやり取りが少しずつできるようになり、簡単なルールのもと少人数で遊具を介して遊びが展開されるようになってきました。４～５歳児になると、友達と関わる力がつき、集団遊びの中でリーダーが生まれ、役割分担が出来るようになってきました。時には、自分と相手の考え方の違いからケンカが起きることもあります。そして、子ども同士関わって遊ぶ中で、様々なやり取りを交わしながら、相手の存在を少しずつ意識するようになります。園の子ども達はそれぞれのペースで友達との関係を広げているようです。しかし、人づき合いが苦手な子が増えていると言われています。その原因に、核家族化や子どもの遊ぶ環境の変化などにより人と関わる機会が減ってきていることが挙げられています。

年長児に遊びの調査で、ベネッセ教育総合研究所は、「遊び込む経験が多い年長児ほど学びに向かう力は高い。」「保育者が子どものやりたい気持ちを尊重しているなど受容的に関わっているほど年長児の遊び込む経験が多くなる。」「園で自由に遊べる時間や場所・遊具や素材があるなど、環境が充実しているほど年長児の遊び込む経験が多くなる。」「遊び込む経験と友達との協同的な活動の経験の多さは関連している。」と報告しています。しかし、集団生活がうまく出来ず動き回る子や、他の子どもとコミュニケーションがうまく取れない、相手の気持ちを読み取る社会性が身についていない子が増えているともいわれています。児童精神科医の佐々木正美先生も著書の中で、『幼児期の子どものコミュニケーションと脳の機能の仕組みの研究を映像化した番組で、子どもが母親と楽しく話をしている時には脳の働きが活発であるが、インタビュアーと話している時には脳（前頭葉）はほとんど働いておらず、人は親しい人と直接交わることが大切で、コミュニケーションというのは、単なる会話ではないということ、相手と心を通い合わせることが重要なのです。簡単に言うと「あなたは、他社と喜びを分かち合えますか、さらに悲しみを分かち合えますか」ということです。』とおしゃっています。コミュニケーション能力は、人と関わることで育っていくものです。幼児期に、親子で気持ちのキャッチボールを重ね、子どもの感情コントロール力を育み、コミュニケーション能力を高めていくことが必要です。また、家庭内の人間関係は、職場や地域社会など家庭外の人達との人間関係のよしあしとも深く関連しているということです。

親が積極的に人づきあいをしていけば、子ども達も人と関わる機会も増えていくので、意識していろいろな人と関わる機会を持つことは大切です。親が子どもと共に楽しんでコミュニケーションを取りながら遊びの経験の幅を広げ、「知りたい」「学びたい」「もっとやりたい」という意欲を満たすよう導いていきましょう。

参考文献　　「子どもへのまなざし」児童精神科医　佐々木正美